

議会の意思を国政へ

請願

意見書

不採択

旧姓の通称使用の拡充を周知し、「夫婦同姓」は合憲とする最高裁判決に沿った政策の推進を求める意見書(案)(要旨)

平成27年12月16日の最高裁判決で「夫婦同姓」は合憲とすると結審された。民法も夫婦同姓を義務付けており、「選択的夫婦別姓制度導入」は、明らかに法を逸脱するものである。婚姻に伴う改姓後の不便さや不利益は、ほぼ解消されているが、旧姓の通称使用は法律に基づくものでないことから、政府や自治体、業界の取り組みの違いにより、社会生活上の不利益が生じることがある。家族の一体感や子どもへの影響、我が国らしいあり方、伝統文化を考える必要がある。よって当意見書の提出を強く求める。

上記の請願は、賛成5、反対20、棄権1で不採択となりました。
賛成討論1人、反対討論3人の討論がありました。
(討論要旨は14ページ参照)

可決

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げをはかるための2025年度政府予算の拡充を求める意見書(要約)

1. 35人学級を中学校で確実に実施し、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革の実現のために、加配増、少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る学級編成基準の弾力的運用ができるよう加配の削減は行わないこと。
4. 教職員の新規採用を持続的に確保し、専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう改善に必要な財政措置を講じること。
5. 「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善のため、学習指導要領の内容の精選等を行うこと。
6. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費の国庫負担割合を引き上げること。



プレ学習会のようす (5月28日)

今回は、初めて参加する廿日市特別支援学校中等部を含む12校の子ども議員が、本番までの3回のプレ学習会を経て、練りに練った一般質問を市長を含む執行部にぶつけます。

一般傍聴はできませんが、ライブ配信がありますので、子ども議員の頑張っている姿をぜひご覧ください。

とき 8月23日(土)9時から

ところ 廿日市市議会本会議場

未来を話そう！
はつかり子ども議会2025



本会議傍聴のようす

本市と友好姉妹都市提携をしたハワイ郡の、コナワイナ中高生と関係者が広島県にやってきました。6月13日には本市を訪れ、市長、議長をはじめとした市関係者で出迎えました。

その後の議会傍聴では、議員から英語とハワイ語で挨拶の場面もあり、傍聴後は宮島島内の見学などをされました。

今後、ますます相互交流が進むことが期待されます。

ハワイ郡の
子どもたちが来廿